

聴覚障がいのお子さんの  
“耳代わり”になる活動を  
続けています。



認定NPO法人  
長野サマライズ・センター

## 聞こえづらい方は、世の中に10%

電話もできない、音楽も楽しめない。パトカー、館内放送にも気付けない。  
日本では音の情報が圧倒的に多く、困ることがたくさんあります。



### 難聴のお子さんの9割が、 普通学校に通っています

学校からの支援は望めません。  
ある女の子が、  
「私だけ、ガラスの壁の中にいる」  
と孤独を語ってくれました。



### 文字情報があたりまえにある 社会を目指して

20年以上、音声を文字化する  
サービスに取り組んでいます。  
スマホを使った遠隔支援のしくみを  
企業と一緒に開発しました。



### 端末を置くだけの 遠隔支援システムが好評です

例えば、体育館での校長講話なども、  
受信した音声を即座に文字化、  
画面に表示します。これで、クラスの  
みんなと同じ思いを共感できます。

皆さまのご協力のおかげで、たくさんの笑顔が生まれています。

これまで、**29**都道府県、**60**校、**5,000**名の聴覚障がいの方々に文字による支援を届けてきました。

## 私たちも、長野サマライズ・センターを応援しています。

遠隔情報保障の先陣を切っておられた  
長野サマライズ・センターさんから、  
たくさん学ばせていただきました。

社会に貢献する事業を続けられるのも、  
長野サマライズ・センターさんから学んだおかげです。  
聴覚障がい者を支援していく心構えや  
やり方を教えていただきました。  
引き続き、聴覚障がい者の方への  
情報保障をご一緒に広げましょう。

一瀬 宗也さん

株式会社アイセック・ジャパン 代表取締役  
(沖縄で文字情報による通訳サービスを展開)



出口 治明さん

立命館アジア太平洋大学学長  
ライフネット生命保険創業者



聞こえないことで参加が難しい授業の前日は、  
子供は不安定になっていました。  
でも、支援が入る日は、嬉しそうに  
安心した表情になります。

Mさん

長野サマライズ・センターの支援を  
受けたお子さんの保護者



## あなたの、ほんの少しの支援で、 聴覚障がいの子供たちを取り巻く状況を、もっと改善できます。



5,000 円で

耳からの情報が入りにくい  
お子さんに体験授業を1回受けて  
いただくことができます。



10,000 円で

支援の必要性を広める講演会1回分の  
講師派遣交通費になり、  
遠方でも開催することができます。



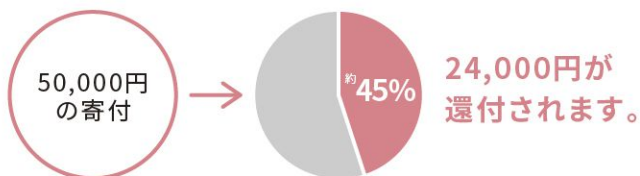
30,000 円で

遠隔支援システムの担い手を  
育成する基礎講習会を  
開催することができます。

長野サマライズ・センターへのご寄付は、  
税の優遇措置の対象となります。

お使いの携帯電話から、  
金額を指定して簡単に寄付ができます。

例) 50,000円を寄付した場合



また、ご寄付いただいた相続財産は非課税になります。

他にも、書き損じハガキや、使用済みインクカートリッジを  
お送りいただくことも支援へとつながります。  
お気軽にお問い合わせください。

ソフトバンクの方はこちら



その他の携帯電話の方はこちら



QRコードを読み込むと、寄付額を選択する画面が表示されます。